

事務事業名		観光事業者との連携強化事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	3 魅力と活力ある産業づくり					担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課
	政策	2 観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり					担当係	観光立市推進係		担当課長名	小野 勉
	施策	1 ひとを集める観光戦略の展開					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2 広域的な観光事業の展開					実施計画事業・一般事業		実施計画事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	10708	一般	7	1	4	観光事業者との連携強化事業					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事業		任意的事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H19年度～ 年度		根拠法令 条例等	実施方法		直営			
						事業分類		その他直接サービス提供事業			
						リーディングプロジェクト		該当			
					市長マニフェスト		3-12				

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
首都圏からの観光誘客を図るため、有効手段としてJRバス関東が運行している高速バスを利用した商品開発を行うと共に、本市の観光スポットである唐沢山城跡や田中正造ゆかりの地等を巡る定期的な観光バスの企画開発を行う。			・JRバス関東との商品開発をし、高速バスを利用した企画乗車券を作製・販売・広報宣伝。 ・JRバス関東ツアー、はとバスツアー							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			会議開催回数	回	6	6	6	6	6	
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
全国人口			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			国内の総人口(1/1確定値)	千人	127,235	127,016	126,597	126,198	125,739	
目的 ③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
高速バスの利用促進及び本市の魅力を感じてもらう			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			高速バス利用者数	人	396,000	396,000	396,000	396,000	396,000	
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
国内に居住する人に、本市へ来訪してもらう。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			佐野市観光協会ホームページアクセス件数	千件	122	117	125	130	135	
			広域での連携事業数	事業	10	11	12	14	14	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	1,500	1,000	0	0	0			
	事業費計(A)	千円	1,500	1,000	0	0	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			業務委託料	1,500	業務委託料	1,000		0		0
	人件費	人	1	1	1	1	1			
のべ業務時間	時間	120	120	120	120	120				
人件費計(B)	千円	467	473	473	473	473				
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,967	1,473	473	473	473				

事務事業名	観光事業者との連携強化事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課	担当係	観光立市推進係
-------	---------------	-----	---------	-----	---------	-----	---------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成19年3月に作成された佐野市総合計画の中で、観光事業者との連携強化の具現化として開始された。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	高速バス利用者が増加してきた。新都市地区へ来た人を如何に市内へ回遊させるかが課題である。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	新都市地区への来訪者を市内や市北部中山間地域へ誘導するよう要望がある。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	チケット販売数の増加が見込めず、JRバスツアーは平成26年度で廃止となった。なお、「はとバスツアー」を誘致し、平成26年12月から実施している。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	観光事業者と連携強化をし、市内に訪れる観光客を増加させることで政策体系と結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	佐野市全体への誘客促進を図るためには、市が中心に行う必要がある。65の民間企業、市有施設が特典施設として参画している。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	JRバスの主要の主要な利用者は関東地区を中心に全国の住民である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	現状として、チケット購入時の割引等のメリットはなく、商品としての魅力が乏しいので、魅力ある特典施設を増加してもチケットの販売数の増加を見込むことは難しい。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はあるが、統合・連携できない	理由・改善案	類似事務事業名 両毛地域・東武鉄道観光誘客連絡会議参画事業 対象事業者が別であり、東武鉄道と両毛7市が行っており統合はできない。
	*類似事務事業があれば、名称を記入			
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	成果を下げずに削減はできない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	観光客を対象にした事業であり、不特定多数の観光客に負担を求めることはできない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	観光客の市内への周遊の促進が図られ、特典の有無にかかわらず観光客が魅力を感じ、来訪するようになれば終了できる。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																						
事業のやり方改善(成果向上の見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) ④観光事業者に対し、本市を回遊する新規バスツアーの開発や鉄道を利用した駅からハイキングなどを積極的に要望し実施することにより、本市への観光誘客を図る。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td rowspan="3">#</td> <td rowspan="3">成果</td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>	#	成果	コスト			削減	維持	増加	向上	○				維持			×		低下		×	×	
#	成果			コスト																				
				削減	維持	増加																		
		向上	○																					
	維持			×																				
	低下		×	×																				